

# 24突破に線見実効阻止へ！ 3月ダイ改阻止 - 2波ストおちと

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！  
〈72総決起集会・デモに1,050名が結集〉

連日、総力動員で

動労千葉は、二月二日、「大量不当処分粉碎・業務移管攻撃阻止・検修合理化粉碎・『61・3ダイ改』阻止、2・2総決起集会」を開催し、超反動的な不当処分に対する長期・強じんな非協力・順法闘争を断固として貫徹すると共に、二月四日から突入する線見阻止闘争を突破口に第二波スト実現！全国鉄労働者の怒りの決起で「分割・民営化」一十万人首切り阻止、中曽根打倒へ突き進む決意を打ち固めた。

## 首都圏ゆるがす一月順法線見阻止

集会は、動労千葉をはじめとする怒りに燃える全国の闘う労働者・市民ら一〇五〇名が結集し開催された。  
冒頭、主催者を代表してたつた中野委員長は、不当処分への怒りを叩きつけるとともに、「今回の不当処分は破防法の組合版だ、動労革マルと一体となったこの攻撃の狙いは、全国鉄労働者の反撃をさえこむためだ。すでに反撃は開始された。われわれの首都圏を揺るがす順法闘争におそれなした当局は、乗客をも無視したムチャクチャな攻撃をかけてきている。二月四日から一カ月、断固闘争を貫徹することわれわれの回答としよう」と、全組合員の総決起を訴えた。

## 拡がる共感・支援ー全国から

はるばる関西からかけつけてくれた全関西実行委員会の永井代表は、「緊急に集めたカンパ九〇万円をもってきた。決して動労千葉は孤立していない。勝利をもぎとるため闘って闘いて闘いぬいでください」と激励のあいさつを述べられた。  
東京実行委員会の長谷川さんは「スト支援一億円基金世話人会は、二月五日、千鉄局に出むき、抗議を叩きつける、分割・民営化阻止へ共に闘おう」と述べられた。  
さらに、婦人民主クラブ全国協議会の代表、全通東京空港支部・岩本書記長、東交婦人部代表、山谷労働組合、仙台中電「広沢君を守る会」、東大分院職組、千葉県労働者会議、国労八王子の仲間からあいさつをうけた。

## 24突破に線見実効阻止、2波ストへ

成田用水決戦のまっただなかからかけつけてくれた三里塚反対同盟を代表してあいさつにたつた北原事務局長は「一一〇〇名の決起は全国の仲間と勇気を与えてくれた。二〇年にわたり動労千葉と共に闘ってきたが全く間違っていなかった。三里塚と国鉄で中曽根打倒まで闘いぬこう」とあいさつされた。

動労千葉顧問弁護団の清井弁護士は「デタラメな処分に勝てる」と確信し、動労千葉の団結を守る

ため最後まで弁護団は闘いぬく」と述べた。  
基調報告にたつた布施書記長は、「『61・3』粉碎、処分粉碎」が闘いの軸だ。動労革マルと結託した業務移管線見は、千転、津田沼、幕張、成田が焦点、2・4から闘いに突入する。当局は、団交をまともにする気はなく、二月十日頃に打ち切る様子である。われわれは、この時期を期してストライキをもって闘いぬく。いかに血を流そうが全国の国鉄労働者の怒りと結合し、怒りの決起を勝ちとるため、断固闘おう」と、鮮明な方針を提起した。

## 被処分者守りきり、猛然たる2波へ

いよいよ動労千葉の決意表明に入った。津田沼支部・重見副支部長、千葉転支部・後藤執行委員は、それぞれ自らに対する不当処分への満腔の怒りを明らかにすると共に、線見阻止を断固闘いぬく決意を明らかにした。  
続いて、青行隊を代表して杉本君、最後に青年部長の新藤君より第二波闘争の最先頭で闘いぬく断固たる決意が明らかにされた。  
山口副委員長の閉会あいさつ、委員長の団結ガンパローで集会を終了、直ちに怒りの千鉄局抗議デモを貫徹、第二波ストへの決起を誓い合った。



報復・大量不当処分うちだけ！動労千葉を守り、これに続こう！全国に拡がる支援・共闘の輪(↑) 市街で闘う仲間

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！